

## 第 52 回 年次大会報告

長 井 智 典

## 1. はじめに

公益社団法人日本技術士会北海道本部の第 52 回年次大会が 2017 年 7 月 5 日(水) ホテル札幌ガーデンパレスで開催されました。年次大会資料を、本会誌後ろの年次大会報告に掲載していますのでご覧ください。ここでは会議の概要と講演会、懇親会の様子を中心に報告します。

## 2. 年次大会(15:30～16:30)

今回は定期報告を中心とした 5 つの事項が報告されました。

## (1) 出席状況

- ・会員 165 名
- ・会友 31 名
- 合計 196 名

## (2) 開会挨拶

森本部長より、日本技術士会の動向についてお話がありました。年度早々、役員選挙が

あり北海道本部役員の約半数が交代したこと、大熊副本部長が統括本部理事に当選されたことに加え、文部科学省科学技術・学術審議会技術士分科会において「今後の技術士制度の在り方について」の報告書が公表され、それを受け日本技術士会技術士制度検討委員会より「技術士制度改革について(提言)―中間報告―」を提出したことについてお話され、今後の技術士更新制度の導入に注目して欲しいとのことでした。



写真-1 右より羽二生事務局長、森本部長、池田・高桑副本部長



写真-2 森本部長挨拶

## (3) 報告事項と質疑応答

## ①第 1 号報告(平成 28 年度事業・決算報告)

羽二生事務局長より、平成 28 年度の事業及び決算報告が行われ、高宮会計幹事より適正かつ問題の無い旨の監査報告がありました。これに対する会場からの質問・意見等はありませんでした。

## ②第 2 号報告(平成 29 年度事業計画・予算説明)

前号に続いて、平成 29 年度の事業計画と予算についての説明が行われました。

今年の事業計画について、一般会計では、統括本部の地域組織活動費の削減が全額解除となり幾分増額となるが、合同セミナー等の開催が無いことから統括本部からの行事補助費が無く、加えて参加費収入計上のルール変更(交流会・懇親会の参加費と経費を相殺し計上する。)により事業活動収入が減少することから、予算規模が昨年度より 100 万円少ない約 1,700 万円となります。特別会計(試験業務)は技術士第二次試験の会場が 3 会場となることから、昨年度より若干増額した約 260 万円の予算となります(詳しい予算内訳等は、本会誌後ろに掲載の大会資料を参照願います)。

## ③第 3 号報告(役員の選任について)

平成 29 年度の北海道本部役員交代について、森本部長より報告と紹介が行われました。なお、今回、日本技術士会の公益社団法人化後、3 回目の地域組織幹事選出選挙が行われ、北海道本部の立候補者(定数 30 名に対し立候補者 30 名)は皆さん信任されております。

## ④第 4 号報告(研究委員会の設置について)

平成 28 年度第 4 回北海道本部役員会(平成 29 年 1 月 27 日開催)において、「技術者のミライ研究

委員会」の設置が承認された旨の報告がありました。

⑤第5号報告(日本技術士会会長表彰者)

表彰規則第5条に基づく会長表彰の受賞者について、事務局より報告・紹介がありました。北海道本部からは、伊藤恒雄氏、佐崎雅史氏、中野淑文氏、森隆広氏の計4名が受賞されました。

受賞者の略歴等は本会誌グラビアをご覧ください。

(4)閉会

報告事項5件に続いて、事務局から統括本部の活動報告があり、その後、森本部長の閉会宣言により年次大会は滞りなく終了しました。

3. 講演会(16:30~17:30)

今回は株式会社マーケット・リスク・アドバイザリーの新村直弘代表取締役をお迎えし、「2017年下期経済見通し~市場リスクの把握と対応の必要性」と題してご講演いただきました。

(1)講師のご経歴

東京大学工学部精密機械工学科をご卒業後、日本興業銀行、パークレイズ・キャピタル証券(株)、ドイツ証券(株)を経て、2010年5月(株)マーケット・リスク・アドバイザリーを設立・代表取締役就任、2012年6月(株)MRAリサーチを設立・代表取締役就任。テレビ東京のモーニングサテライトなどでコメンテーターを務められるとともに、日経新聞や週刊ダイヤモンドなど多数のメディアに寄稿されています。



写真-3 新村 直弘氏

(2)講演について

ご講演は、2017年以降の考えるべき主要経済リスクについて、製造業PMI(Purchasing Manager's Index:購買担当指数)やFF金利先物、中国粗鋼生産と不動産販売などのデータを基に分かり易くご説明いただき大変興味深いものでした。特にご講演の中で何度も繰り返されたのが、「火事」になってから保険には入れないため、何も無いときに対応することでした。アナリストの予想は当たらないので予測よりも事前に対応出来ることを洗い出し、実際に好ましくない状況に陥った時に「具体的な打ち手」のシ

ミュレーションを平時から行うことが重要とのことでした。ちなみに今年の10月以降、世界的に景気調整の動きがあるかもしれないと予想されていました。

4. 懇親会(17:45~19:30)

講演会終了後、会場を隣の部屋に移して懇親会が開催されました。懇親会は会員他123名の出席によりほぼ満席での催しとなりました。

飯野事務局次長の進行により、森本部長の開会挨拶、池田副本部長の乾杯の音頭で開宴となり、懇親会がスタートしました。

開宴後は、ご講演いただいた新村様からのご挨拶、会長表彰受賞者のご挨拶、地方技術士委員会からのご挨拶、新任委員長のご挨拶がありました。

その後、今回初の試みとして技術士ビンゴゲーム大会を行いました。これは道南技術士委員会にて発案されたもので、技術士の部門・選択科目をランダムにカード化し、自分が持つ部門・科目のマスは最初から有効とするものです。樋詰技術士と飯野技術士の息の合った名司会もあり大変盛り上がりしました。

| 小一【番号の目安】一次 |        |        |             |
|-------------|--------|--------|-------------|
| 1~20        | 10~30  | 20~40  | 30~50 40~68 |
| 3材料力学       | 17電子応用 | 16上下水道 | 51森林土木      |
| 11船舶・海洋     | 22金属   | 43農林化学 | 45警備・防犯     |
| 41電気電子      | 19高度医療 | FREE   | 49森林        |
| 16ロボット      | 21繊維   | 28土木   | 44農林土木      |
| 11船舶・海洋     | 23資源工学 | 25土木基礎 | 47農林環境      |
|             |        |        | 54水産        |

最後に名残惜しさも尽きないまま高桑副本部長の万歳三唱により閉会しました。



写真-4 懇親会司会の飯野事務局次長、開会挨拶：池田副本部長、万歳三唱：高桑副本部長

5. おわりに

平成29年度の活動も半分が過ぎました。今後とも技術士会に対する会員・会友の皆様の積極的なご支援・ご協力を何卒よろしくお願い致します

長井智典(ながい ともり)

技術士(建設/総合技術監理部門)

日本技術士会北海道本部  
事務局次長  
株式会社ドーコン

